



2026年9月30日

各 位

会 社 名 株式会社バイク王 & カンパニー
 代 表 者 名 代表取締役 CEO 澤 篤 史
 (コード番号 3377 東証スタンダード市場)
 問 合 せ 先 取 締 役 CFO 大 谷 真 樹
 (TEL. 03-6803-8855)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年1月13日に公表いたしました2026年11月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年11月期通期 連結業績予想数値の修正 (2025年12月1日～2026年11月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰 属 する 当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A) (2026年1月13日)	百万円 38,700	百万円 710	百万円 910	百万円 570	円 銭 39.92
今回修正予想 (B)	38,800	860	1,150	750	52.41
増 減 額 (B-A)	100	150	240	180	
増 減 率 (%)	0.3	21.1	26.4	31.6	
(ご参考) 前期実績 (2025年11月期)	38,574	585	829	327	23.10

修正の理由

当社は2026年6月29日に公表した業績予想の修正において、中東情勢の動向に伴うリスク等を勘案し、通期連結業績予想を据え置いておりました。その後、第3四半期においては、6月29日時点で想定していた事業環境に大きな変化は見られず、オークション相場も引き続き堅調に推移いたしました。

このような事業環境のもと、仕入面においては、マーケティング施策の推進による堅調な顧客接点の確保に加え、営業マネジメントの強化や営業プロセスの改善等の取り組みを継続した結果、仕入基盤の安定化が進展する見込みとなりました。また、堅調なオークション相場が継続する中、良質な車輛の仕入確保が進みました。

販売面においては、適正な在庫水準を維持しながら販売を推進した結果、ホールセール販売台数は回復基調で推移する見込みとなりました。また堅調なオークション相場の下、車輛売上単価（一台当たりの売上高）および平均粗利額（一台当たりの粗利額）についても高水準を維持する見込みとなりました。さらに、リテールにおいても在庫管理体制の高度化や販売プロセス改善の効果により、収益性の向上が進展する見込みとなりました。

なお、第4四半期においては、引き続き外部環境の不確実性等のリスクを考慮するとともに、次期以降に備えた対応や設備等の投資を予定しております。

これらの結果、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を上回る見込みとなったことから、通期連結業績予想を修正いたします。

(注) 上記の予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上